

栗東市地域福祉計画委員会（平成29年度 第4回）議事概要

日時	平成30年2月22日（木） 午後2時00分～午後3時05分
場所	栗東市役所 2階 第1会議室
出席者	岡野英一（学識経験者）、村田智美（学識経験者）、黒田元吾（社会福祉協議会）、青地 勲（社会福祉協議会）、千代妙子（特別養護老人ホーム淡海荘）、横山真弓（グランマの家保育園）、中村末雄（民生委員児童委員協議会連合会）、池田久代（ボランティア関係者）、吉仲幸子（老人クラブ連合会）、上田紀子（女性団体連絡協議会）、高畑きぬ江（心身障害児（者）連合会）、山口克巳（自治連合会）、金城ゆみ子（同和対策促進連絡協議会）、北川 聡（校長会）、北村一子（公募委員）、田中啓久（公募委員） <b>【栗東市】</b> 野村昌弘（市長）、太田聡史（社会福祉課長）、的場紀雄、河合貫至、津山堅証（社会福祉課） <b>【関係者】</b> 山中忍恵、中沢有紀、本間由樹（社会福祉協議会） 平川理恵（㈱ジャパンインターナショナル総合研究所）
欠席委員	宮城安雄（なかよし福祉会）、樋上雅一（草津栗東医師会）、清水 憲（自治連合会）、清水久輝（草津・栗東地区労働者福祉協議会）
傍聴者数	0名
協議事項	（1）第3期栗東市地域福祉計画（案）について （2）その他

1. 開 会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

（委員長）

年度末になり、地域福祉計画案が出来上がってまいりました。世間では冬季オリンピックが開催されています。日々の地域福祉の活動は、こつこつと積み重ねていることで、地域の福祉は目に見えないものですが、オリンピックのような華やかなものがいつか花開いていくのではと思っています。

（市長）

委員のみなさまには今日まで、6度にわたりご審議をいただきました。最終案をとりまとめるに至り、ありがとうございます。華やかな空気がオリンピックで流れていますが、私たちも栗東市の市民に本当の安心を与えるにはどうすればよいのか、実のある福祉にもっていくことが重要になってきます。社協の計画と栗東市の計画により、人と人の結びつきをつくり、向こう三軒両隣一緒に

なって地域を作っていくことが大切です。計画だけに終わるのではなく、栗東市として形にしていきたい。ゆりかごから介護までといわれるが、私たちが一緒になって地域で安心できる環境を見出していきたいと思います。最終案を提示させていただきますが、皆さまからのいろんなご意見の結晶ですので、最後までご指導ご鞭撻をいただきたく、よろしく申し上げます。

#### 4. 報告事項

- ・ 4名の委員が欠席。
- ・ 傍聴者無し。

#### 5. 内 容

##### (1) 第3期栗東市地域福祉計画（案）について

###### (委員長)

パブリックコメントの結果などを合わせてご説明申し上げます。

###### (事務局)

- ・ 本日の会議資料の確認
- ・ 1月13日に開催された「龍谷大学福祉フォーラム」において、当委員会の岡野英一委員、村田智美委員長から第3期栗東市地域福祉計画に係る説明をいただいた件について報告。
- ・ パブリックコメントの結果報告  
12月25日から1月19日までパブリックコメントを行い、市のホームページ、および市内9カ所のコミュニティセンターに計画案を設置して意見を募りましたが、ご意見はありませんでした。
- ・ 第3期栗東市地域福祉計画（案）の内容について説明（前回の委員会までで検討いただいた内容、要点について再確認。）

###### (委員長)

計画ができて終わりではなく、皆さんご自身が、この地域福祉計画像をイメージしていただき、地域に持ち帰っていただきたいと思います。

何か、ご意見、ご質問はありますか。

###### (委員)

4ページの「計画期間」で、2018年のところは「平成」表記と西暦表記の両方が書かれていますが、2022年の部分には「平成」がありません。何か理由がありますか。また、8ページの本文中で「65歳人口」とあるのは、「65歳以上人口」の間違いではありませんか。そして、療育手帳所持者数とあるが、療育手帳とはどういう人が持つておられるのかわかりませんので、説明を加えていただいたほうが良いのではないのでしょうか。

(事務局)

2022年には「平成」がなくなっていることが確実であるため、西暦のみの表記にしています。

(委員長)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳とありますが、一般の市民さんには、その違いがわからないかもしれませんね。

(事務局)

「65歳以上人口」の表記が正しいので、そのように修正いたします。療育手帳などについては、巻末の用語解説で補いたいと思います。

(委員)

21ページに「民生委員・児童委員の減少」とありますが、「減少」というより「未設置」ということではないでしょうか。「活動日数が減っている」とあるのは、一人あたりの活動日数が減っているのか、民生委員全体の数そのものが減っているために活動日数が減っているのか、どちらでしょうか。

(事務局)

民生委員の人数そのものが減っているために、全体的な活動日数が減っています。

(事務局)

「民生委員一人あたりの活動日数が減っている」と解釈されないようにしたいと思います。

(委員長)

表現も含めて、ほかにご意見をいただければお願いします。  
最終的に製本をしていただきますが、計画書の配付先はどのように考えていますか。

(事務局)

計画書本体は部数の関係もあり全戸配付は難しいので、基本的にはこの委員会を構成いただいている団体をはじめ、関係団体の代表者にお渡ししたいと考えています。また、概要版をつくる計画をしており、これも全戸配付は難しいですが、関係者や団体に地域福祉のポイントがわかってもらえるようにと考えています。

(委員長)

概要版は、ぜひ作っていただけたらと思います。

(委員)

「栗東市いきいき活動ポイント事業」とか、知らない方もおられるので、説明を加えてはいかがでしょうか。栗東市の独自事業のPRにもなると思うので。

(事務局)

用語の解説については、また検討したいと思います。

(事務局)

どの事業を選び出して解説を加えるのか、選択の基準が少し難しいところもありますので。

(委員)

今、切実に思うのは、子育ても大事ですが高齢者の介護もとても大変になると不安に感じています。今後、自分たちが5年、10年経つとどうなるのかと思います。高齢者に優しく語りかけるような資料(概要版)であればと思います。先日、お隣の方を訪ねていきましたが、老老介護で私の力では動かすこともできません。子育ても大事ですが介護も忘れないようにしないと、これから大変だと切実に感じています。

(委員長)

重点プログラムの中にもありますが、高齢者をケアする包括的なシステムができればと思います。

(委員)

困ったときに、どこにつなげたらよいのでしょうか。

(委員長)

第2期計画から課題になっていた「専門職の配置」に向けて、今回の第3期計画でも進めてもらっているのは、計画策定の大きな成果だと思います。きちんと配置して実行していくことが目標になると感じています。

(委員)

資料の44ページの厚生労働省が示しているイメージ図は、「地域包括ケア」ではなく「地域包括支援体制」ではないでしょうか。

(事務局)

イメージ図の表題を「地域包括支援体制のイメージ図」に修正します。

(委員)

PDC Aサイクルとありますが、この委員会は計画を策定する委員会だと思うのですが、今後、計画がスタートした時に、どのタイミングでチェックし改善するのでしょうか。

(事務局)

40ページに施策体系図があり、これに基づいて48ページ以降の第6章で、それぞれの部署が実行していく内容が書いてあります。第2期計画でも、それぞれの部署でこの1年どうだったかを整理して、それを点検、評価してまいりました。第3期計画においても基本的には同様に考え

ています。また、この委員会の位置付けは今回の第3期計画から、計画策定だけでなく進行管理も委員会の役割としています。

(委員)

P D C Aは、1年サイクルですか。

(事務局)

1年サイクルです。

(事務局)

平成30年度の早い段階で、各課がどういう取り組みをしていくか、1回目の委員会でお示ししたいと思っています。また、それを実行した内容について委員のみなさんに評価していただき、平成31年度以降に反映させていきたいと考えています。P D C Aを回しながら、より良くしていきたいと思っています。

(委員)

計画をたてるだけでなく、P D C Aを回すことが大事だと思います。

(委員長)

「C」の部分で、また委員さんに関わっていただくことになると思います。

(委員)

計画書はどこに配付されるのですか。

(事務局)

民生委員さんや、この委員会の構成団体をはじめ関係団体の代表者にお渡ししたいと考えています。

(委員)

この計画は大事なことなので、できるだけ多くの住民に見てもらいたいと思います。学区によっては、助け合いのことなど実情も違います。計画書は量が多く厚いので、薄いものでもよいので地域の皆さんにわかるものを配付いただきたいと思います。自分たちが困ったときにどういう助け合いができるのか、困ったときに助け合いができるように準備しましょうと呼び掛けるようなものがほしいです。この計画書そのものを住民全員に配ってもらっても読めないのです。

(委員長)

日々活動している人が手に取れて、参考にできるようなものがあればいいですね。社協の地域活動計画と両輪を回せるように、うまく情報共有できるようにしてもらいたいと思います。地域福祉計画なので、地域の人に浸透していくことが大事だと思います。

(事務局)

8ページ程度の概要版を作成いたします。全戸配付は厳しいですが、団体さんで学習会をされる時などに配付できればと思います。広報紙に挟みこんで全戸配付するよりは、学習会のように集まっていた時に、説明を加えて概要版をお渡しさせていただいたほうが効果的だと考えています。

(2) その他

(事務局)

来年度の委員会についてですが、団体から選出いただいている委員さんは交代されるかもしれませんが、あらためて新年度に委員選出の照会をかけさせていただきます。そして、今年度は計画策定なので委員会を4回開催させていただきましたが、来年度以降は進行管理なので年に2回程度、開催させていただきたいと思っています。年度初めの4～5月は各団体さんとも総会等が開催されますので、それらが終わって落ち着いた夏前頃と、年度の終盤頃の2回、開催したいと思っています。

(事務局)

本日の会議でご指摘いただいた箇所の修正については、事務局にご一任いただいて、委員長と副委員長に確認させていただくことをご了承願います。

## 6. 閉 会

あいさつ

(副委員長)

昨年度から今年度にかけて6回の会議を重ね、ようやく計画が策定できました。

4月からは進行管理ということになりますが、今後も委員のみなさまにはよろしく願いいたします。